

# 決算報告書

第4期事業年度

自平成19年 4月 1日

至平成20年 3月31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構



## 平成 19 年度 決算報告書

自 平成 19 年 4 月 1 日  
至 平成 20 年 3 月 31 日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	30,558	30,801	243	(注 1)
施設整備費補助金	4,260	4,259	-1	(注 2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	61	61	0	
自己収入	110	214	104	
雑収入	110	214	104	(注 3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,698	3,256	558	(注 4)
目的積立金取崩	184	0	-184	(注 5)
計	37,871	38,591	720	
支出				
業務費	26,476	26,442	-34	
教育研究経費	26,476	26,442	-34	(注 6)
一般管理費	4,376	3,971	-405	(注 7)
施設整備費	4,321	4,320	-1	(注 2)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,698	2,794	96	(注 8)
計	37,871	37,527	-344	
収入 - 支出	0	1,064	1,064	

### 予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、平成 18 年度特殊要因経費の繰越しにより、予算額に比して決算額が 243 百万円増加しています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、年度計画作成後における交付決定額の変更により、予算額に比して決算額が 1 百万円減少しています。
- (注 3) 雑収入については、主として財産貸付料収入の増及び不用物品の売払いの増により、予算額に比して決算額が 104 百万円増加しています。
- (注 4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として受託研究、寄附金及び科学研究費補助金間接経費の受入れが予定よりも多かったことにより、予算額に比して決算額が 558 百万円増加しています。

- (注5) 目的積立金取崩については、予定していた目的積立金の重点研究への充当を次年度へ見送ったため、予算額に比して決算額が184百万円減少しています。
- (注6) 教育研究経費については、一般管理費の削減分の共同利用経費への積極的な運用により、予算額に比して決算額が34百万円増加しています。
- (注7) 一般管理費については、調達物品・役務請負契約の見直し等による節減及び採用計画の見直し等による人件費の削減により、予算額に比して決算額が405百万円減少しています。
- (注8) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として受託研究、寄附金及び科学研究費補助金間接経費の受入れが予定よりも多かったことにより、予算額に比して決算額が96百万円増加しています。